

第6回学校適正規模・適正配置審議会 第1グループ会議録

- 1 期 日 令和5年5月19日（金）午後6時50分から午後7時50分  
 2 場 所 庄内町役場 B棟 会議室1  
 3 出席者 河村竹宏、丸屋恭子、佐藤義徳、佐藤一典、佐藤 一、菅原弘昭、富山指導主事  
 4 内 容

A	<p>適正規模を考える際に学級数を基準に考えてほしいと意向があるのかと思いますし、適正配置については通学時間が一つこの辺りがポイントなんだろうと思います。それを受けて④なのかなと思ったところです。それぞれご意見をいただきますけども、こうなただけども、でもね。というところが当然出てくると思いますので、但し書き的な部分も併せてご発言いただければありがたい。資料を見る時間があつた方がいいですよ。若干の時間、資料、アンケート結果を今一度、見ていただきたいと思います。</p> <p>④といいつつも①も協議の中に入っていますので、学校の環境、教育活動に望むことについてもご意見をいただきたい。結果はこういう結果なんだけれども、これを踏まえながらということで、どうでしょうか。</p>
B	<p>① についてですけども、そこにある設問が、学校にある施設設備のことがメインになっているわけです。その辺での住民の気持ちだとか、そこには一切入っていないということになるかと思えます。②③にいけば住民の意見とかその他ありますけども、①は望ましい学校設備はこうであるということであつて、一番評価される内容にはならないのではないかというふうに思いますが、その辺、いかがですか。あと一つ、小学校と中学校とは学校の規模も違うし、地域とのつながりも全く同じではないと思う。小学校の方が地域とのつながりを大事にして、今までもやってきたし、今後もやっていく必要があると思うんですけども。それで、一つの学区が、私は第4学区ですけども、余目の小学校と立川の小学校に、地域が半分に分かれるということ、そういうことがあるということが非常に危惧される場所です。余目の中の3つが2つになって、そこに第4学区が入るとかですね、そういうこともあろうかと思うが、その場合に第4学区もかなり広い区域になっていて立川よりの集落もあるが、そのうちのこっちは余目の学校、こっちは立川の学校に行くというような区割りは絶対あつてはいけないと考えています。中学校はですね、今でも西袋はスクールバスで余中に通っていますけども、これからの地域の説明会の中で小学校の区割りが一番の問題になってくるのかなというふうに思えます。ですから、このアンケートを見ても学校と保護者、地域社会が連携した教育活動というのが、非常に多い数字を示しているわけですけども。その辺で、最初に何をメインで決めたらいいのか迷うところなんですけども。例えば、中学校の数、小学校の数で決めていくというような形になるのか。それはどのように考えればいいんですかね。</p>

C	最後の方は、おっしゃるとおりだと思います。②から④までの話が決まらな いと望むところが出てこない。
A	学習環境は、学校の施設として、私は、学校の仕事をした身からすれば安全管 理がなんといっても第一番、それを抜きには語れないのかと、優先順位はそこ なんでしょうなと思います。その次の優先順位が何なのかがポイントになるだろ うなと思っています。今、いろいろお話いただいたわけですが、現時点で、 三つの小学校については安全管理に「？」がついている。それは見過ごすこと はできないと思っています。アンケート結果からも重点的に整備するという ところの割合が多かったわけですね。どことどこが一緒になるかなどという ことではなくて、重点的にやっていくということが将来いいのだろうという ところまでははっきりしているということが読み取れるのかなと思います。あと は、具合的な部分というようなどころになってくるのかと思います。①から④ までバラバラで考えることはできないと思うんですけども、一応、アンケート 結果を踏まえてということもあったので、最初、小学校について、②③④につ いて議論をしていきたいと思っています。このグループしての方向性を次の会で示 すことができればありがたいと思っています。
D	いろいろお話を聞いていて、最初にあった意見は私も感じたところですが、今、 学級数の部分ですね、アンケートを見て保護者意見というところでは、小学校 の1学年あたりの学級数では圧倒的に2学級というところが非常に多く、私自 身も同じ保護者として感じるころではある。これは町民に出したアンケート になるので、これに沿って議論はするわけですが、ここが一番の声になって いるのでそこをベースに考えれば、2学級が多いのであればその部分でという 方向でやっていった方がいいですよ。
A	アンケート結果で小学校だと2学級が一番多かったわけですね。ただ、見て いくと1学級という項目についても少し割合があったので、この辺の考え方も あるのかなと思います。アンケート結果から2学級が望ましいけれどもと私は 思いました。ただ、各地区の状況に応じて1学級の選択肢もありうるのかなあ ということを感じたのですが。
B	さっき、教育委員会からの資料の説明で令和17年度の数字の説明があつた が、数字は流動的かと思うが、必ずしも2学級にこだわる必要はないと思う。 できない場合もありうるわけです。それはそれで認めていかなければいけな い。何が何でも2学級でなくてはならない、当然35人学級とか、もっと減ら せば30人くらいの学級数であれば、学校の数にもよるが2学級くらいのクラ ス数で平均して進んでいくのではないかと思います。
A	他の方々からもご意見いかがですか。
C	私は、前回のこの会のときもアンケート結果と児童の推移を踏まえて、小学校 は2校で、中学校は1校でと考えたんですけども。アンケート結果は大事だと

	<p>思っていて、子どものスポ少関係で立川と一緒にやっているのですが、そちらの保護者の話を聞くと、ずっと一クラスという現実に切実な意見が出てきたりとか、こういうところを重要視していかなければいけないのかなと思います。</p>
E	<p>私も児童数の推移とかアンケート結果から前回も2学級くらいを維持していくなれば小学校は2校、中学校は1校というところが妥当なのかなと発表させてもらいました。</p>
A	<p>一応、小学校と中学校を分けて進めていきたいと思います。ごっちゃになるので小学校に絞らせてもらっていいですか。</p>
F	<p>小学校と中学校、共通して言えることは、クラス編成、人間関係。本校の例でしかわからないのですが、毎年クラス編成をやっていますが、合う子、合わない子というのがどうしても、その中にいるのがつらいという子どもたちが毎年います。その時に複数クラスがあるということで、担任の方でそういう経緯も踏まえて、どういう編成をすればつらくなくなるかなということが話に出てきます。今年なんかは、去年まで休んでいた子がいたんですが、今は誰も休んでいないという状況です。これは間違いなく、クラス編成のメリット。それが毎年、人間関係の中でだと、つらくなる子どもが毎年います。親御さんとも話しながら、どういう人間関係をつくったらいいかなということを複数の目で見えています。それがメリットです。あとは、もう一つ教職員定数というのが単学級だとものごく減ります。余目中学校でいうと免許外の教員が複数教えなければいけないということもありますが、ある程度のクラス数があるとそういうこともなくなる。クラス数が教員数に影響してくることは間違いありません。</p>
A	<p>アンケート結果から2学級ということも出てきて、それを望ましいとしながらも地区によっては単学級もありの方向なのかなと思いますが、いかがですか。</p> <p>全部が2学級という、そうすると必然的に、今、ほぼほぼ単学級なので複数学級が望ましい、但し書きがそこに出てきてもおかしくはないわけですがけれども、いかがですか。</p> <p>適正規模としては、2学級が望ましいだろうけれども、但し地区の状況などを踏まえて1学級の選択肢もありなのではないかというようなまとめ方でよろしいでしょうか。</p> <p>小学校の適正配置の部分、それについてはアンケート結果からみると町民の方、保護者の方、教員の方すべてにおいて30分未満でした。次に見た場合、15分未満という割合も結構多かったので、できるだけ通学時間は短い方が小学生の親御さんも含めていいのだろうと受け止めたのですが、その辺どうですか</p>
D	<p>私は、1学区になりますが、1小に通わせている子どもがいますが、30分未満、15分未満というところは私もそのとおりだなと思います。一番そこが影響するのが、保護者からすれば季節、特に冬場なんですよ。スクールバスと</p>

	<p>いうところもあるんですけども、公民館からの距離の関係でスクールバスが適用なる地区、ならない地区とかいろいろあるので、特に冬場、うちはまだ歩きななので、ただ、そこまで長い距離ではないんですけども、急に学校から連絡がきて、保護者が送ってきてくださいとかいうケースもあったものですから、そういったことも考えると保護者に対する負担とか、距離が長ければ長いほどあると思うんです。なので、そこを考えると私としては許容範囲が30分までが限界かなと思います。</p>
A	<p>今の発言からすると冬場も含めて30分未満ということでしょうかね。</p>
B	<p>実際、立谷沢の方から通っているスクールバスは、今でも30分は超えるかと思えます。ただ、瀬場に小学生が何人いて、中学生が何人いてというところまでは調べていないんですけども、もしそこから乗るとしたら30分くらい、冬場とかは除雪の関係もあると思うので夏場と状況がちがうと思うので、その辺は15分とか30分くらいということで了解できるのかなと思います。</p>
A	<p>この部分についていかがですか。だいたいいいでしょうか。小学校の部分で、適正規模と適正配置ということでご意見をいただきながらまとめさせていただいているわけですが、それを受けて(3)の学校整備というより具体的な部分ですよ。これについて、ご意見をいただきたい。先ほど来、前回の審議会でもアンケート結果等を踏まえて発言しているということでしたけれども、この辺も確認をしていきたいと思えます。</p> <p>アンケート結果を見ると、学校数を減らして重点的に投資して建て替えというのが全体で73.4%を示していますので、その方向で調整を進めるということが必要のかなと私は読み取ったのですが、いかがですか。各学校を立て直すとかそういうことでなくて、重点的に建て替えていくというという線は、皆さんご異存はないところかと思えますが、あとは具体的にということですけども、私は先ほど来優先するのは安全なので、1小、2小、3小については何らかの手立てが必要なのだろうと思えますし、この部分については町民の方々も納得感が強いのかなと思ったところでした。なので、重点投資建て替え対象校と私は考えたのですが、1小、2小、3小はそうだろうなあというふうに考えました。この辺はいかがですか。</p>
B	<p>安全性のことは当然のことだと思います。安全性のことを考えれば、どこが早くとか、それは何年かの差は出てくると思いますが、全部一斉にはいかないとは思いますが、そう考えるとクラス替えができる学校と考えると、前に話し合いで出てきたように、中学校を1校にして、小学校も1校にするという意見もありましたけど、そう考えると中学校1校というのはなくなったと考えられるのではないかと思う。中学校は2校というのが、1校でなければ2校であろうと考えなければいけないのかなと思います。その2校になった段階での一番大きな問題は、立谷沢地区の冬場の通学時間が実際にどのくらいなのか、今</p>

	どれくらいなんですかね。立谷沢の方から立川の中学校までのスクールバスの時間というのは。
G	以前の審議会の資料の中では40分くらいだったか。今手元に資料がないのでわからないですけども。
B	では、だいたい30分くらいの範囲には入るのかなとは思っていますが。
A	小学校に絞って話し合っていてよろしいでしょうか。 安全性が危惧される3つの学校については、重点投資建て替え対象であるという認識でよろしいでしょうか。そうすると、4小、立小は施設の安全性がまだ図られているという観点からすると、そうならないわけですけれども。この部分についての考え方を少しお聞かせいただければ。 先ほど来、適正規模の部分で、2学級が望ましいが、地区によっては1学級という選択肢もあり得るのではないかというようなことだったわけですが。四小と立小については、それぞれの学校を維持すると考えた場合は、複数学級ということは当然実現はしないということになります。
C	4小と立小の耐用年数はどのくらいだったのでしょうか。 この会の方針がそもそも20年後、30年後を見据えてということなので、今回、4小、立小は大丈夫だよねという話ではないと思うんです。
B	鉄筋なんかは、30年とか50年などのスパンがあるんでしょうけどね。何十年から何十年とか。その辺はどうなんですか。
A	大規模改修を1回しているので、それを受けてということになるかと思いますが、答申が20年後、30年後ということなんですが、果たして予測が可能かといわれると非常に難しい部分があるなと私は思ったんです。すべての部分で。
C	話は反れますが、20年後、30年後を見据えるのであれば、おそらく高規格道路もできてくるだろうし、通学時間も改善されるという話もできると思うんですね。なので、4小と立小の話がでていましたけれどトータルの話もできるのではないかと。
B	トンネルも今やっているんで、はい終わりというわけにはいかないじゃないかと、実際いつから工事するとか国交省とも話をしていませんしね。
A	すごく難しい話で。 将来の子どもたちの視点と現段階での子どもたちの環境という、両方で考えないとまずいかなと私は考えました。将来だけを見据えるのではなくて、今も見据えるというか、その辺りについて皆さんのお考えはいかがですか。
C	それは、そのとおりでと思うので、学校数を減らして重点的に投資という方針にするのであれば、当然、全部一斉にドンってはないと思うので、段階的にどことどこというふうになっていくと思うので、その辺の検討になっていく

	のではないかと思います。
A	<p>今のご意見では、先が見えない部分があつて段階が必要ではないかというご意見だったと思います。ただこの件では、重点的に投資して建て替えるという方向性は、「そうだよね」とうことは確認できたと思いますが、あとは、もう少し段階を経て議論を重ねないとダメな部分があるのではないかというご意見もいただいたところです。この辺りどうでしょうか。</p> <p>そのような方向で、この会の考え方としてよろしいですか。</p> <p>曖昧なところにはなりますが、現段階ですら安全性が確保できていないという学校については、個々に直すのではなくて、重点的に建て替えるという方向で確認をさせていただいてよろしいですか。そのような形で小学校の方まとめさせていただきます。先ほど、ご意見あったようにある程度段階を踏みながら議論していくという付帯事項が付くのかなということで、よろしいでしょうか。</p> <p>中学校について、残り20分ほどしかなくなったわけですが、まずは適正規模のところについて、資料からいうと町民の方、保護者、教員のすべてが4学級以上というようなことになりました。ただ、私が見た感じですが、複数学級を望んでいるということは判断できるのかなと思ったところでした。これは小学校と共通する部分なのかな、学級数の数はそれぞれあるのかもしれないのだけれども、この件どうでしょうか。</p>
B	<p>立川にしても、余目にしても2学級以上は確保できるというのは現実的にあるかと思う。2校にするという案の中で学区編成は致し方ないというのはわかりますけれども、なんで1校がダメかという、1校建てるとすれば、余目と立川の中間地点にです、ただ、中間地点に建てるということは不可能なことであろうかと思うので、そうすれば自ずと1校は消えていって、2校という方向に動いていくんじゃないかと思います。ただ、立川地区が通学に関しては、通学時間が長くなるということが問題点として挙げられていますけれども。立川地区からの通学時間が生徒の負担になるというのは、要するに余目の方に通うということなのかな、2校であれば立川地区は立川の学校、余目地区は余目の学校と今のまま、学区編成は致し方ないということで、第4学区に関して言えば、一番最初に言いましたけれども、一番恐れているのは、地域が分断されるんじゃないかということ、半分はこっち、半分はこっちとかですね、そのような学区編成は致し方ないといいながらも今までの流れの中でそぐわないじゃないかと考えています。その辺をうまく調整していかないといけないのかなと思います。遊佐町も小学校1校になりましたので、その中でそれなりに運営しているわけですので、中学校も1校ではなく2校という方向でいければいいのかなと思っています。</p>
A	<p>学級数が4学級以上となると必然的に1校かなと思いますが、ただ、通学時間を考えた場合に30分未満が一番多かったですよ。ただ、次に45分未満と</p>

	<p>いう数字だったかと思いますが。この辺の整合性が図られないとダメなことが当然でてくると。どちらを優先したらいいかというようなことが出てくるのかなと私は読み取ったんですけども。ただ、今、ご指摘があったように中学校を新たに別の場所に建てれば、両方がクリアできる可能性も残されるということもあろうかと思いますが。ただこれが、町の財源にとってどうなのかというのが、次の視点になってくるじゃないでしょうか。財源的なことではなんとかなればどちらも実現できる。</p>
B	<p>意見集約を見ると、余目中学校を利用して長寿命化でというような方向性が出されていますけども、ただ、真ん中になるとどこになるんでしょうかね。</p>
A	<p>アンケート結果を踏まえれば両方を実現するとすれば、それかなというふうになるかと思うのですが。</p>
B	<p>そういう案も考えられるということですね。</p>
A	<p>Fさん、中学校としてはどうですか。</p>
F	<p>確実にわかっているのは、令和17年度の生徒数を見たんですが、仮に1つの学校になったとしても1年生の学級数は3学級。立川地区がそのときの1年生が13名、教職員の定数は減る中で、13人でできることというのは、ある意味、目が届くことは届くわけですけども、活動の内容は限られてくるのかなと思います。本来であれば、切磋琢磨でいろんな人と関わって、そして自分を高めていくと考えた場合は、一つの学校でできた方がいいのだろうなと思いますが、私が引かかるのが、通学の時間が、そのところで、例えば、遅れていきますといったときに、他の生徒は徒歩でも学校に来たりする生徒がいる中で、送ってこなければいけない生徒も出てきます。あと冬ですと、今でも大変な暴風雪の中、夜のクラブに通いますと、9時で練習が終わって、子どもにとって部活は大切ですけども、負担感が気になるところがあります。そういうところがクリアできれば、庄内町一つで切磋琢磨した方が子どもたちにとっては後々を考えればいいのかなと思います。個人的な意見です。</p>
A	<p>切磋琢磨などいろんな環境を考えると一つの方がと、ただ、そのための条件整備が非常に難しい部分があるだろうという。そうなってくると現状維持という。</p>
E	<p>幼稚園くらいの幼児期から小学校、中学校まで同じ人間関係のまま変わらずに切磋琢磨という、いろんな人の影響を受けてという部分で考えれば、資料の片道の通学時間を読み解いていったときに30分未満は理想的ですけども、学級数が4学級が多かったというところから、そういうところ思っているんだけども、そう考えたら45分は仕方ないのかなと思っている人も、このアンケートの中で答えている人がいるんじゃないかなというふうに思います。</p>
A	<p>ご意見としては、中学校の規模は一緒にして、ご理解をいただきながら、現施</p>

	設、余目中学校を使うと。
E	アンケート結果を見た場合に、そういう考えもあるのではないかなと思いました。
B	7月以降に各学区での説明会があるわけですが、そこでも当然、通学時間、スクールバスなどの時間については質問に出てくると思うんですよ。さっき、30分、15分ということだったんですけども、少々超えてもいい範囲が何分くらいなのか、45分じゃ多すぎるよとなるか、その辺も町として答えていく必要があるかと思う。
A	小学校より多少時間がかかってもという答え方だったという気がするんですね。なので、45分という数値もあったのかなと見てました。発達段階の違いなんだろうと思います。
B	小学校のことは終わったんですけども、一つ気になったところは、放課後こども教室の件なんですよね。今、それぞれのまちづくりセンターを中心に、庄内町もそれぞれの学区でやろうという方向で動いているわけです。それが小学校の編成によってかなり変わってくるということが地域とのつながりが薄れていくということにつながるのではないかな。サポーターも5地区でいえば、隔週ですけども十何人もいて、もし、立川と一緒にするとすると、立川は講座制がほとんどなんです。いろんな講座を設けて、もちろん遊ぶ時間はありますけど。第4学区は最初から最後まで、最後までではないですけど、最後の30分だけ宿題やって、あとはみんな遊ぶ時間なんです。それが子どもたちにとって、保護者にとっても好評なんです。そういうものをもう一回つくり上げていかないといけないと思います。中学校の検討の中で、小学校のことで言い忘れていたことがあったので。どこかでも放課後こども教室の扱いについて出ていたと思うんですけども。
A	枠組みが変わっていくので、すべての部分で調整、再構築を図らなければいけない。付帯事項に関わる部分なのかなと私はとらえたんですけども。さて、中学校についてこの部会として、理想としては学級規模と通学時間の両方をクリアしていくのが理想だけれども財政的な部分はどうか。あとは、学級数、適正規模を優先するのか、適正配置を優先するのか。その辺は非常に難しいとしか、現段階ではならないですかね。
B	今、我々、学校のことなんですけども、アンケートのその他のところにランドセル一つつけて日本一教育がすばらしい庄内町なんてありえないじゃないかと。それで、これから10年くらい先のことを進めていくことになると思うんです。それであれば、ランドセル一つでなくてもっと他の面で、ただお金を出せばいいということじゃなくて、若い人たちがもっと、南野にある新しい町営住宅ですか、あそこには入居者がいっぱいなかなか入れないというような状況があるようなんですけども。そうした形でもっと若い人たちにアピールするもの

	<p>を是非町として示していただいて。日本の中でもいろんな合計特殊出生数が高い流山とかですね、そんなところの話がいっぱいありますけども、そこでやっているようなことをどんどん、お金がかかる話なんでしょうけども、やっていって、10年後に若い世代をどんどん呼び込んでですね、そして子どももどんどん生んでもらって、それを全面的に支援するという方向を町の方で示してもらいたい。それと、一緒なんじゃないかなと学校適正規模・適正配置だけじゃなくて、それがあればまた違う方向で10年後いい結果がでてくるのかなと思っています。よろしくどうぞ。</p>
A	<p>中学校の件でしたが、重点的に投資して建て替えというのが、全体を見たときに54.2%なんですよね。これが小学校とは全く違う。小学校は73.4%、大筋理解が得られる数字なのかな。中学校の方は54.2%という数字で果たしてどうなんだろうというところも、私は正直、数値からいうと感じたところです。結論がなかなかでなかったのが、慎重な判断ということが中学校、求められると思ったのですがいかがでしょうか。</p> <p>中学校の部分については、まとまり切れませんでした。あと5分しかなくなりました。付帯事項について、答申の中で付帯意見ということがありましたが、先ほど課長より、学校整備の具体的な枠組み、ここまでは突っ込んだ話、どの学校とどこの学校が一緒になってなんて話まではいきませんでしたけども、8の付帯意見、先ほど枠組みが変わった場合のいろんな再構築を丁寧に取り組んでほしいという意見があったのかなと思います。他にございませんか。</p>
C	<p>個人的にですが、1校なのか2校で学区編成なのか決めかねているところがありましたので。</p>
A	<p>学区編成を絡めるかというところですよ。適正規模と適正配置について学区編成を前提にしながらどうなんだろう。意見として学区編成というのはいかかなものかということも意見をいただいていたが。</p>
C	<p>令和17年度を見たとき、1校にしたとしても4学級は無理なんですよね。今のデータを見ると。</p>
F	<p>他の学校も4学級というのはなくなっていくような気がしますけども。</p>
A	<p>現段階の小規模校は立川中学校のようになっていくわけですからね。私も付帯意見として学校における施設、設備に充実というのはもちろんだと思うんですけども、加えて、マンパワー、県費負担の教職員の数は当然決まっているわけですけども、町として、これまでもすごく手厚く庄内町はしてくれていると認識はあるが、さらなる一層の充実をお願いできればなあということを思っていました。現場に関わっている先生方、職員の方が一生懸命ですけれども、それでも子どもたちが多様化してきているので支えていただければなというのがありました。他に、間もなく約束の時間になってしまうんですが、よろしいでしょうか。言い尽くせないところもあったかと思いますが、まず、第2グルー</p>

	プからもいろいろ意見が出てきて、それをまた一つの意見にできるかわかりませんが、また、ご意見をいただければと思います。ありがとうございました。
	(19 : 50 終了)